

ウーマン アイ

こだわりウエディング



京都・下京区の老舗料亭旅館を改装した「ザ・リバー・オリエンタル」は結婚披露宴ができるレストランだ。昨年五月のオープンだが、婚礼での利用者は当初予想の百組を大きく超え、年間三百五十組が見込まれるという。

レストランや多目的ホ

ールを式場にする「オリジナルウエディング」は、バブル期に急速に広まった。東京周辺のホテルや

専門式場で、結婚披露宴の平均客単価が五万円から七万円といわれていた時代だ。こうしたこだわりのウエディングは衣装や花などを個別に手配することが多い。意外に割

現在、平均客単価一万二千円と言われる京都の市場で、八千円から受け付けている。

単なるレストランの「新規事業」ではない。運営しているのは、もと

もとウエディングの総合プランニングを手掛けるプラン・ドウ・シー。野田豊社長は披露宴の場について「ホテルはパーキング、控室などハードを完備している。だが問題はソフト。適齢期の人たちが何を求めているのか、遊びや流行まで知らなくては生き残れない」と語る。

同社がコンサルティングして昨秋開業したばかりの「ザ・ハネザワ・ガーデン」（東京・広尾）

も、十一月まで予約が一杯だという。五感を磨かれて育った若者たちの、サービス内容とコストに対する要求は厳しくなる一方のようだ。

（食チャンネル）プロデューサー 矢幡 聡子

高となり、景気後退と共に曲がり角にさしかかった感があった。
ザ・リバー・オリエンタルの場合、レストランのおしゃれさに加え、手ごろな価格を実現した。